

新狭山ハイツ・ブランディングプロジェクト (SBP) の概要 (総会資料より)

図-1 新狭山ハイツ・ブランディングプロジェクト (SBP) の基本的な考え方

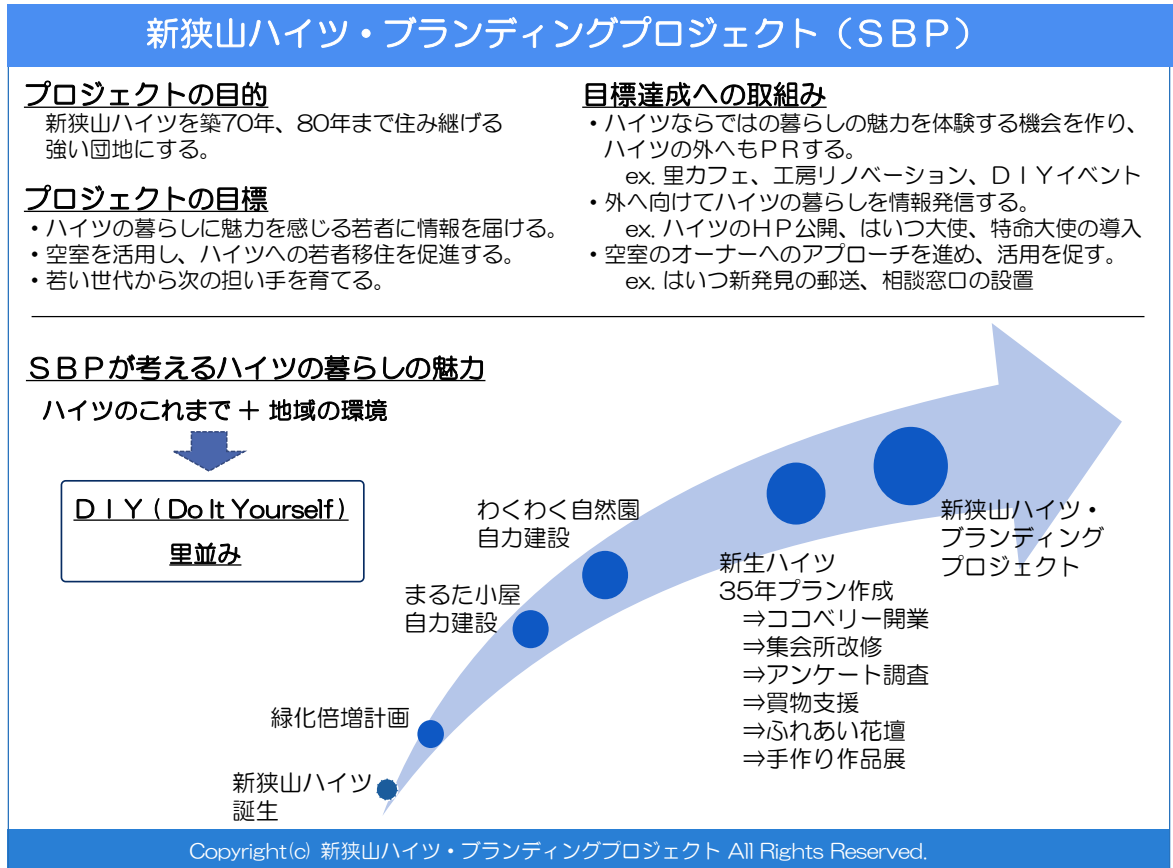


図-2 国交省のモデル事業に採択された主体と住宅団地

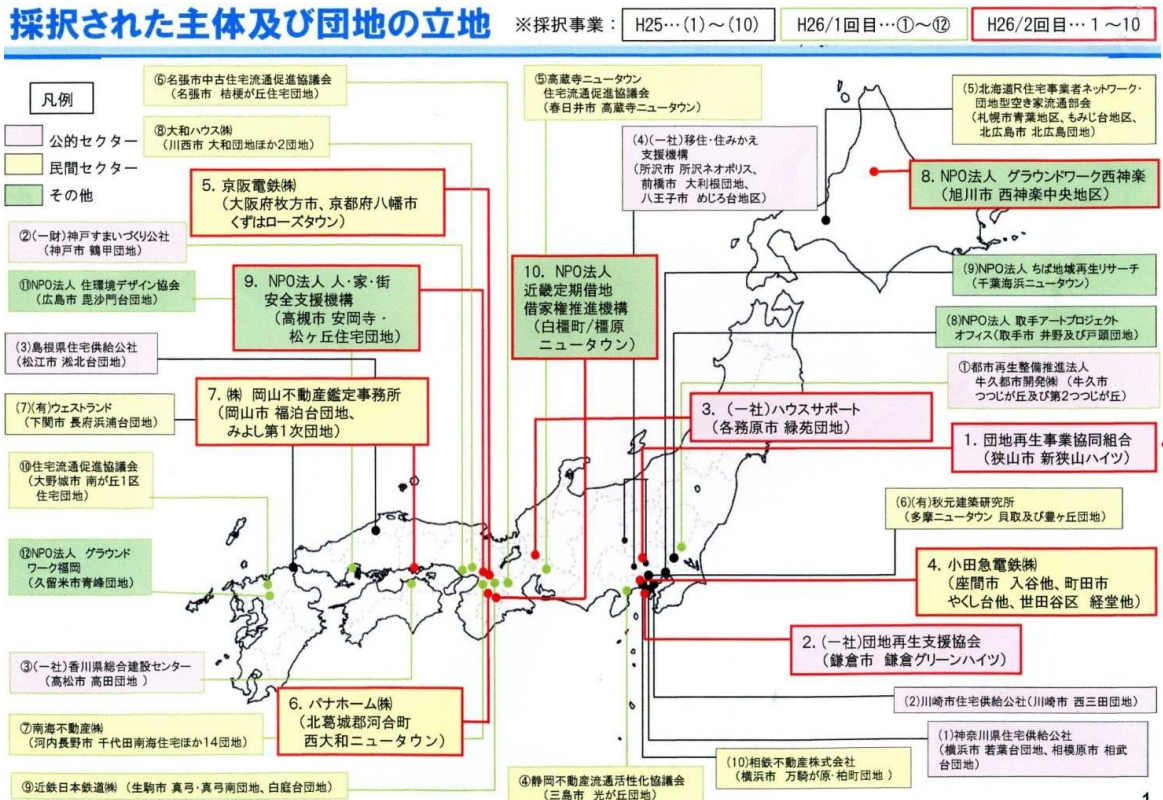


図-3 新狭山ハイツ・ブランディングプロジェクトの概要（2015年度）

(1) クリエイティブな暮らしのPR



- ①作業小屋のリノベプロジェクトの推進
（作業小屋の片づけ・廃棄物処理→解体・改修→工具等の収納→カベアートの取付→竣工のお披露目を開催。）
- ②手作り（DIY）イベントの開催
（夏休み子どもクラフト教室→クリスマスリース・どんぐりクラフトづくり→モザイクでカベアートづくり、計5回開催。）
- ③部屋のリノベーション・イベントの開催
（シェアハウスとしてリノベーションされた部屋の公開→子育て世代向けリノベーションの体験イベントを開催。）

(2) 素敵な郊外の暮らしのPR



- ①ブランディング・カフェの開催
（子育て世代の母親たちとの懇談会を開催。）
- ②里カフェの開催
（ハイツ産の梅を活かした梅酒やシロップづくり、孟宗竹を活かした流しソーメン→里の秋・冬の食材を収穫・調理し、みんなで食事を楽しむ狭山おたがいさま里食堂：2回開催。）
- ③パンフレット「ようこそ新狭山ハイツへ」の作成
（ハイツへの入居希望者や入居間もない方にハイツやハイツ周辺のたおやかな里の魅力を紹介するパンフレットを作成し、配布。）

(3) 情報提供・情報発信



- ①はいつ特命大使の公募・任命
（はいつ特命大使の公募をプレスリリース→3名を任命・シェアハウスに入居→2名リタイア→その後2名を新規に任命、現在3名入居中。大使はブログでハイツや狭山市の魅力を発信。こうした取り組みが毎日新聞・東京新聞・読売新聞に掲載。）
- ②ニュース「はいつ新発見」の発行
（SBPの取り組みを住民や外部オーナーに広報するニュースペーパー「はいつ新発見」を4回発行。）
- ③SBP専用のホームページの開設
（SBPの取り組みを対外的に紹介するHPを開設し、情報発信。）

(4) インспекション
（住宅点検・改修）



- ①インспекション（住宅点検・改修）の実施
（既存住宅を対象にした専門家による住宅点検。昨年度分も含め25件程度実施。）
- ②はいつ未来カフェの開催
（団地の暮らしを豊かにするヒントを学ぶ「講演会」や「意見交換会」を開催。会場ではリノベーションプランの紹介あり。）
- ③住宅改修支援
（売買や賃貸を対象としたインспекション。申し込みなし。）

※点線下の事業は、団地再生事業協同組合の事業（実施にあたっては、NPOじおすも協力）

<2015 年度国交省補助事業の総括について>

①取り組みの成果

- ・コンセプト（里並みやD I Y）が若い世代に共感を得ることが確認できた。
- ・一連の情報発信によりハイツの取組が広く知られるようになった。
- ・山本誠氏を核に若い世代との交流・コラボレーションができた。
- ・地域や大学などと新たなつながりができた。

②今後の課題

- ・コンセプトにこだわった取り組みの継続（居住価値の見える化）
- ・中古住宅のリノベによる資産価値の向上（販売収入増）というインパクトのある実績づくり
- ・自治会や管理組合の関心の喚起

図-4 分譲団地の流通促進のためのポイント（団地再生事業協同組合の資料より）

